

栃木県及び周辺の地震活動（令和 8 年 9 月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 3 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 5 回（前月 15 回）、震度 3 以上を観測した地震が 2 回（前月 1 回）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

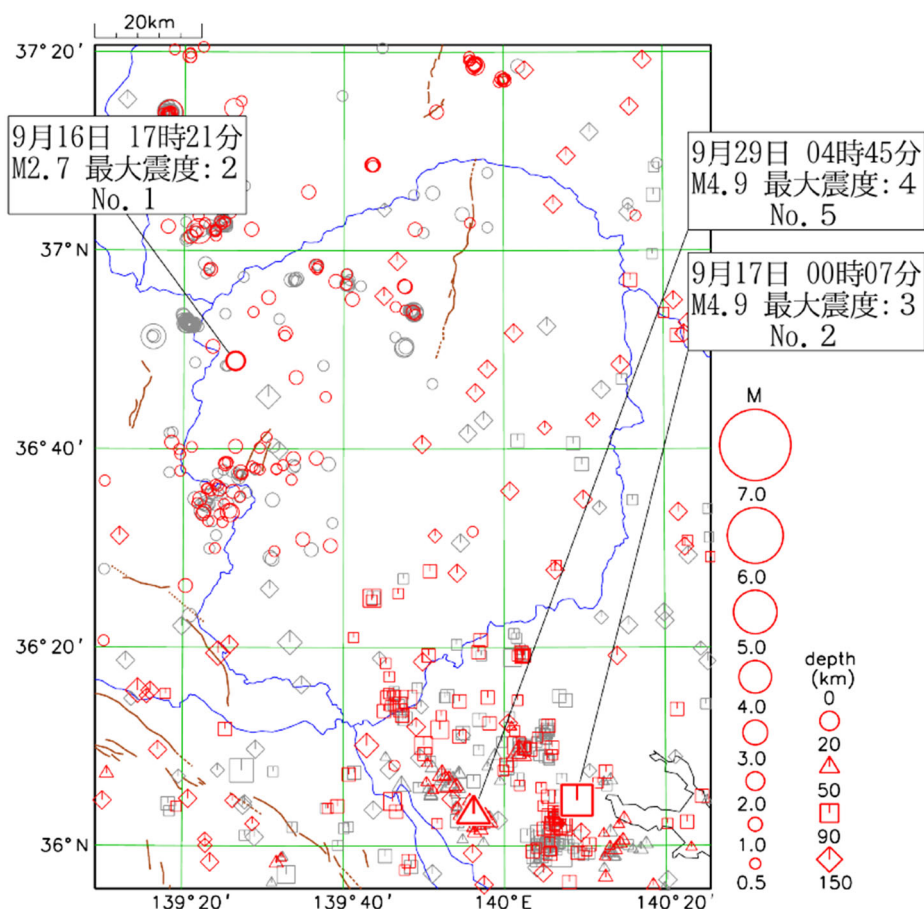


図 1 震央分布図（2026 年 8 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

- ・ 今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・ 図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・ M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・ 図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

【9月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード*	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	9月16日	17時21分	栃木県北部	36° 48.8'	139° 26.4'	3	2.7	2	2
2	9月17日	00時07分	茨城県南部	36° 04.5'	140° 08.9'	67	4.9	3	3
3	9月17日	06時11分	茨城県南部	36° 06.1'	139° 53.0'	48	3.2	1	1
4	9月22日	15時34分	茨城県南部	36° 09.3'	140° 01.8'	50	3.9	3	2
5	9月29日	04時45分	茨城県南部	36° 03.2'	139° 56.1'	46	4.9	4	3

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 栃木県北部（地震No. 1）

16日17時21分に栃木県北部で発生した地震（深さ3km、M2.7）により、栃木県で震度2を観測したほか、福島県で震度1を観測しました。栃木県では、日光市湯元で震度2を観測しました（図2）。

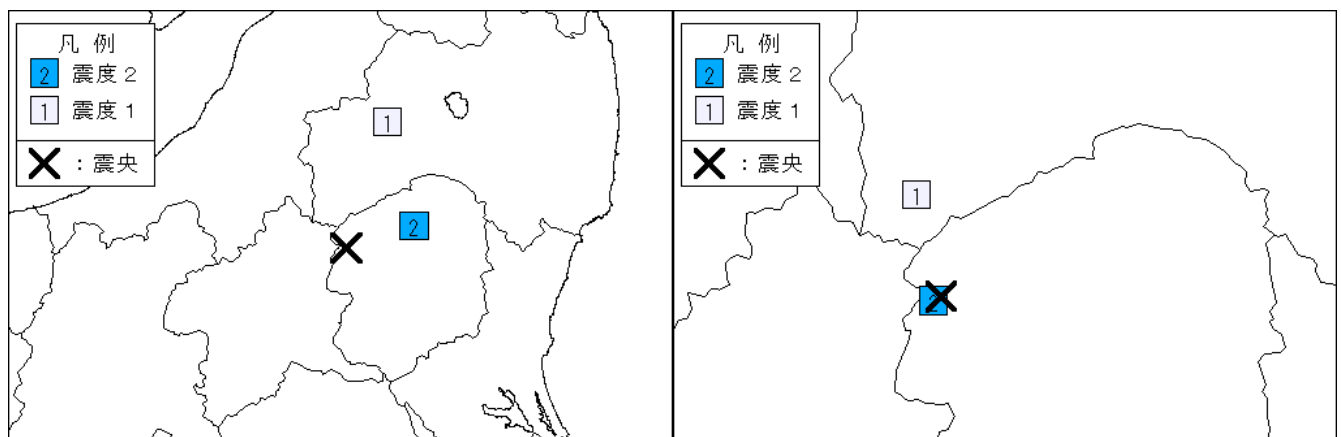


図2 16日17時21分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

2. 茨城県南部（地震No. 2）

17日00時07分に茨城県南部で発生した地震（深さ67km、M4.9）により、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県で震度3を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度2から1を観測しました。栃木県では栃木市、鹿沼市、益子町で震度3を、18市町で震度2を、4市町で震度1を観測しました（図3）。

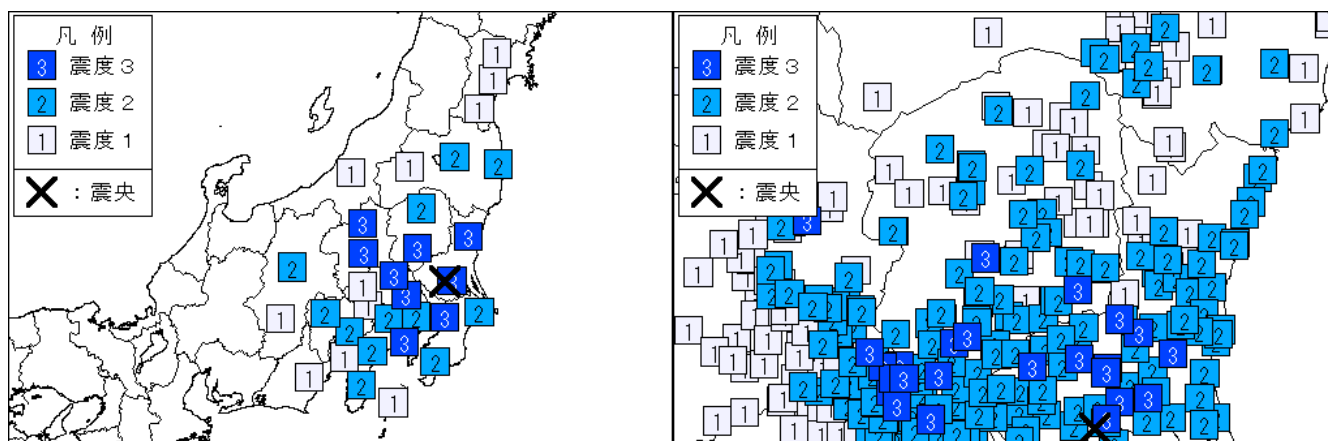


図 3 17日00時07分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

3. 茨城県南部（地震No. 5）

29日04時45分に茨城県南部で発生した地震（深さ46km、M4.9）により、茨城県と埼玉県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3から1を観測しました。栃木県では栃木市、佐野市、鹿沼市、真岡市、壬生町、野木町、下野市で震度3を、10市町で震度2を、8市町で震度1を観測しました（図4）。

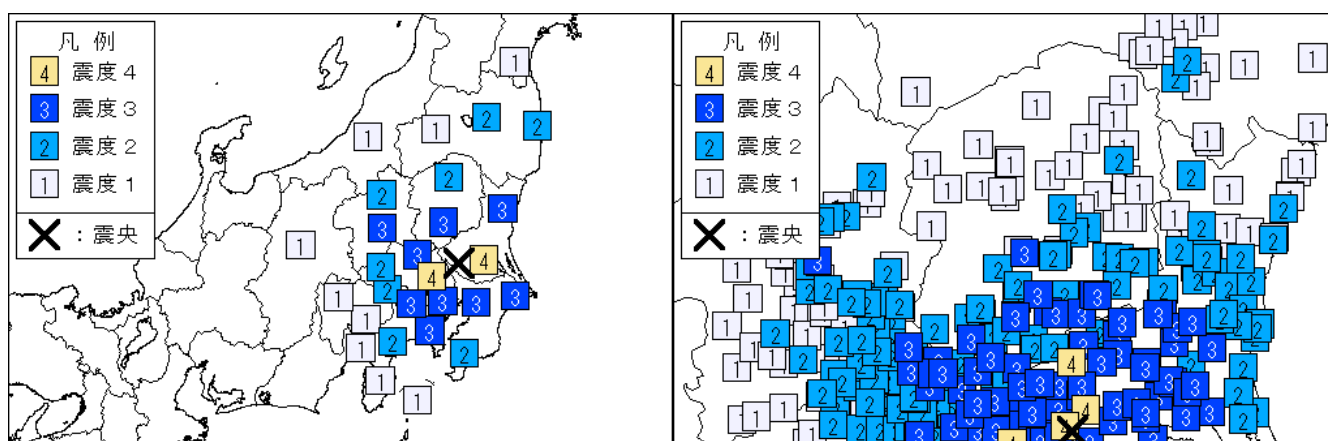


図 4 29日04時45分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【震央分布図範囲外の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

【防災メモ】緊急地震速報

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度、長周期地震動階級を予測し、可能な限り素早く知らせる情報です。

地震が発生すると、揺れが波（地震波）となって地中を伝わっていきます。地震波は主に2種類あり、速いスピード（秒速約7km）で伝わる「P波」と、それよりもスピードは遅い（秒速約4km）が揺れの強い「S波」があります。気象庁では、震源付近で先に届いたP波を検知した地震計から送られてきたデータを解析して、震源や地震の規模、予測される揺れの強さを計算し、地震の規模や予測震度等が発表基準に達した地域に緊急地震速報を発表します。これらの処理は全て自動で瞬時に行われるので、S波が伝わってくる前にお知らせすることが可能となります。ただし、内陸の浅い場所で地震が発生した場合など、震源に近い場所への緊急地震速報が強い揺れの到達に原理的に間に合わないことがあります。

緊急地震速報には「警報」と「予報」があり、「警報」は、震度5弱以上または長周期震度階級3以上を予測した時に震度4以上または長周期地震度階級3以上を推測した地域に発表されます。「警報」は、テレビ・ラジオ、携帯電話・スマホ、防災行政無線、施設等の館内放送など様々な手段で伝達されますので、緊急地震速報の「警報」が発表された際には、あわてずに身の安全を確保しましょう。「予報」はマグニチュード3.5以上または長周期地震動階級1以上を予想した時に発表され、列車やエレベータ、工場等の機械制御などで活用がなされています。

緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、震源に近いところでは緊急地震速報が間に合いません。また、ごく短時間のデータだけを使って予測していることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。

- ・ 緊急地震速報について
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/index.html>
- ・ 緊急地震速報とは
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shikumi/whats-eew.html>
- ・ 緊急地震速報のしくみ
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/shikumi/shikumi.html>
- ・ リーフレット「緊急地震速報～長周期地震動階級の予想も含めて発表～」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eew/index.html>

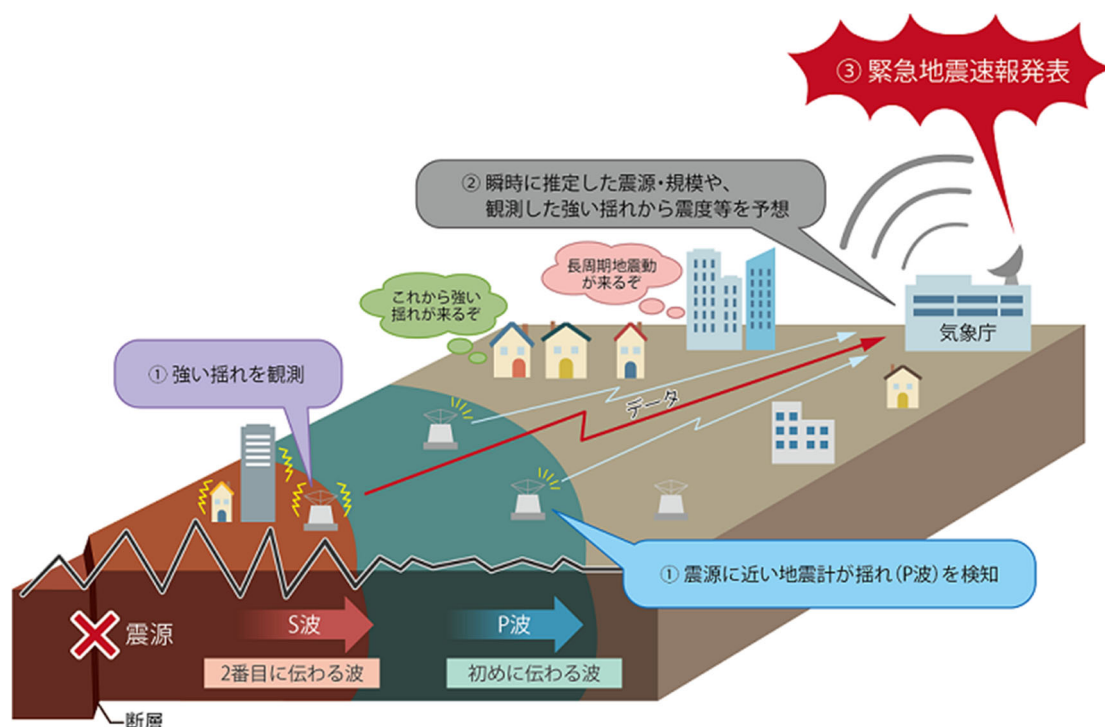


図5 緊急地震速報のイメージ図